JIS A 6909 建築用仕上塗材 複層塗材E主材 ローラー塗装・吹き付け塗装用

ニッペ

タイルラックEMA-Sベース100K

吹き付けでもローラーでも塗装可能な複層塗材E主材

ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆

■特長

①ローラー・吹き付け兼用

希釈率を変えるだけで、それぞれの塗装方法が選択できます。

②美しい仕上がり

丸みを帯びた均一な立体感のある美しい模様が得られます。

③長期性能持続性

長期にわたり、すぐれた性能を発揮します。

■用途

内外部壁面

■標準塗装仕様

ゆず肌状ローラー仕上げ（その他組合せは裏面をご参照ください。）

工　程	塗 料 名	塗り回数	使　用　量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	水性カチオンシーラー透明	1	0.10～0.16	4時間以上	無希釈	―	はけ・ウールローラー エアレススプレー
主材	ニッペタイルラックEMA-Sベース100K	1～2（注	1.00～1.50	16時間以上	水道水	2～6	砂骨ローラー
上塗り	ニッペタイルラック水性トップつや一番	2	0.17～0.20	4時間以上	水道水	5～10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

凹凸模様吹き付け仕上げ（その他組合せは裏面をご参照ください。）

工　程	塗 料 名	塗り回数	使　用　量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	水性カチオンシーラー透明	1	0.10～0.16	4時間以上	無希釈	―	はけ・ウールローラー エアレススプレー
主材	ニッペタイルラックEMA-Sベース100K	1～2（注	1.40～2.00	16時間以上	水道水	1～3	タイルガン
上塗り	ニッペタイルラック水性トップつや一番	2	0.17～0.20	4時間以上	水道水	5～10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

注）主材の使用量は塗り回数1～2回で使用するトータル量です。

Basic & New
NIPPON PAINT

ニッペ　タイルラックEMA-Sベース100K

■容量・荷姿

タイルラック EMA-Sベース 100K	
容量	20kg
色相	白
塗り面積／缶当たり／1工程	ゆず肌状ローラー仕上げ：13～20㎡
	凹凸模様吹き付け仕上げ：10～14㎡

■主な下塗り塗料・上塗り塗料

工程	商品名
下塗り材	水性透明シーラー 水性ホワイトシーラー 水性カチオンシーラーホワイト 水性カチオンシーラー透明 1液浸透シーラー 1液ファインシーラー※ ファイン浸透シーラー 浸透性シーラー(新)
上塗り材	タイルラック水性トップつや一番 タイルラックEMA上塗Ⅱ※ デュフロン4FⅡフレッシュ スーパーオーデフレッシュSi オーデフレッシュU100Ⅱ オーデフレッシュSi100Ⅲ ファインウレタンU100 ファインシリコンフレッシュ ファインSi ファイン4Fセラミック

■性能：JIS A 6009建築仕上塗材 複層塗材E

試験項目		規　格	性能
低温安定性		塊がなく組成物の分離、凝集がないこと。	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		ひび割れがないこと。	合格
付着強さ N/mm²	標準状態	0.7 以上	合格
	浸水後	0.5 以上	合格
引裂性能	引裂強さ N/mm²	6.0 以上	合格
温冷繰返し		試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。	合格
透水性B法(ml)		0.5 以下	合格
耐衝撃性		ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと。	合格
耐候性A法		ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること。	合格

※の商品はJIS A 6909の適合商品ではありません。
その他の商品での組合せはJIS A 6909に適合する組合せとなります。

■ 安全衛生上の注意事項
ニッペ タイルラックEMA-Sベース100K

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- 粉塵、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
- 施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上（スプレー缶の場合は40℃以上）の温度に暴露しないでください。
- 内容物／容器を廃棄する時には、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

＊上記の表示は、一例です。
色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
■詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

■ 施工上の注意
（詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。）

- 蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- ALCパネルに塗装する場合は、平滑性と表面強度を保持するため、フィラー類での下地調整が必要です。
- 下地の状態や形状、面積、塗料温度、塗装条件などによって、見本と色調および模様の差異を生じる可能性がありますので、塗装前に試し塗りをしてください。
- 仕上がり模様は、事前に試し塗りを行い条件などを設定してから本施工に入ってください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケット科学社製CH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケット科学社製Hi500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。）
- 新設ALCパネルなど表面がぜい弱な素材の場合、本品の凝集力によって下地の表層からはく離する場合がありますので、本品を直接塗装することは避けてください。
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 開缶後放置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
- 塗装場所の気温が5℃以下もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライマーオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、さすなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

危　険	危険有害性情報
	生殖能力または胎児への悪影響のおそれ

日本ペイント株式会社

お客さまセンター
☎ 03-3740-1120
☎ 06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/

●ISO14001を全事業所で認証取得しております。
●このカタログは再生紙を使用しています。

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●ⓒCopyright 2014 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

●さらに詳しい情報は、専用Webサイトへアクセス
http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html

日本ペイント　建物　検索

カタログNo.
NP-R175
AA140203T
2014年2月作成